

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 28日

事業所名 : 児童デイサービス結らんど上勢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	2	未使用中の相談室の活用もやっている	
	2	職員の配置数は適切である	0	1	6		個別に支援を必要とする児童が増えている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0	2	5		目標設定までは職員全員が参加しているが振り返り作業は少人数で行っていた
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	0		昨年5月に開所して初めてのアンケート調査の為
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	0	7		昨年5月に開所して初めてのアンケート調査の為
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	7		昨年5月に開所して未だ第三者の外部評価は受けていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	0	7	市町村の連携協議会に入り各種研修案内情報が入るように	コロナが落ち着けば積極的に行う予定である。コロナ下ではリモート等での研修が中心になり、日常業務との併用が難しい面も多い
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0	毎月アセスメントを兼ねて児童の直近の様子と対応について話し合っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	0		児童個人のレベルに応じた標準なのか全体での標準かで児童の評価が大きくかわってくるので模索中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	毎月話し合いを行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	3	平日は室内活動を主、休日・長期休暇中は外での活動を主にしている	出来れば平日の近隣散策等も増やしたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	既述の通り毎月児童の状態を話し合いサービス計画に反映させている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	5	2	毎日出勤時間に差があり職員連携ノートの活用、口頭連携を併用	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	7	0	勤務時間に差があり必ずしも全員が振り返りを出来ていないが前述の連携の一とを活用している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	5	0	概ね事業所の活動方針はガイドラインと合致している		
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	0	男子児童の場合は男性職員、女子児童の場合は女性職員が参加	厳密にはその児童と最も関係性の良い職員の方の参加が、児童本人の内面等深い理解に繋がると思われるので

こ や 保 護 者 と の 連 携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	0	送迎担当者は事業所携帯を携行し緊急時・予定変更時は連絡を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	2	未だ要医療的ケア児の受け入れは無い(服薬・発作対応はあり)	要医療的ケア児の受け入れ時には、十分な情報共有を行い個別のマニュアルを作成し職員間に徹底周知する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	就学前利用事業所との管理者同志のコミュニケーションはとっている	可能ならば定期的な交流機会も必要と感じる(新型コロナウイルス流行終息後に検討したい)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	0	適宜行う準備はできている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6	1	現時点で発達障害支援センター等との情報交換ができていない	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	0	以前から交流のある学童クラブがありコロナ後に交流を再開したい	長期休暇中の交流会を増やしたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	1	現状参加は少ない	これからは積極的に参加し多くの事例の情報を得て、当事業所の支援のアドバイスも受けたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	概ね保護者との情報交換共有は多い方だと思う	本来ライン等を使った情報伝達網を構築したいが一部ライン等をされてない保護者もあり検討中
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	2	保護者の心情を思えば、あくまで客観的に状態と要望を伝えるようにしている	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	0	家庭内、家族間の関係性や思いも強く感じる、極力相談は聴くに注力	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	7	事業所開所が新型コロナウイルス蔓延と重なり計画はあるが実施できていない	新型コロナウイルスが終息したタイミングで早急に保護者会を開催したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	保護者には契約時に必ず苦情を訴えるルートを伝え、苦情受付BOXを受付票と共に玄関に設置	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	毎月活動新聞を発行(写真多めに)している	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	適宜、職員へ周知啓蒙を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2	0	発語の乏しい児童に対しては、絵カードや掲示物での順番表示等行っている	保護者との情報交換にはグループライン等を活用したいが、ライン等をやらない保護者もあり、一部の実施に留まっている。他の方法も検討中
非 常 時 等 の 対 応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	4	既述の通り新型コロナ下で難しい	事業所の大家さんとご家族の方とは良い関係を築けているので新型コロナが終息したらもっと地域に交流機会を広げたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0	当初から緊急時対応・防犯・感染の各マニュアルは作成し掲示している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	すでに年2回の避難訓練を行っております	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	1	事業所内の虐待への相互理解の機会を作っているが外部ではまだ出ていない	過去に北谷町地域連絡協議会で児相職員の方を呼んでの研修会を行い継続の予定が新型コロナで中断している、今後は是非再開したい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	6	1	身体拘束を行う事を避ける為の対応に注力するが保護者全員への説明にはまだ不足があります	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0	契約時に保護者の方からアレルギーについては聞き取りを行っている	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	行っている	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 4月 28日

事業所名 児童デイサービス結らんど上勢

保護者等数(児童数)24

回収数16

割合66%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	窓が多く明るくてきれい	広さは充分とは言えないがプレイルームに仕切りや物を置かない事で閉塞感を押さえている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1			職員の配置数や専門性にはまだ不足感がある。鋭意充実を図りたい
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4		手すりの設置が少ない	入口、プレイルームに関しては段差が無くバリアフリーだが、手すりに関しては簡易手すりも含め早急に対応したい
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	2			事業所の特徴として集団よりも個性重視の支援が主なので保護者にも理解頂いていると思う
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9		コロナもあり慎重に	コロナが落ち着けば以前より交流のある学童センターとの交流活動を増やしていきたい
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1			インテークの説明で概ね理解頂いているものと思っている
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1		連絡帳等お迎えの時に細かく伝えてくれるので助かる	管理者含め児童の学校情報を意図的に保護者へ伝え情報交換の円滑を図っている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	9	2	コロナ下でもあり、これから楽しみです	コロナ下の昨年5月開所で家族会含め自粛せざるを得ない状況あり、コロナ以降活発に動きたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1		感謝する事はありますが苦情は今まで無いのでわからない	苦情投書箱を苦情受付簿と共に玄関に設置。保護者へのインテーク時に市町村への訴えのルートも必ず説明してます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16				保護者との情報交換にグループライン等を活用したいが、ライン等に不慣れな方もおり検討中(一部実施)
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1			毎月活動新聞(写真中心)を発行して親御さんに配布している
14 個人情報に十分注意しているか	15				個人情報の漏洩・拡散に対しては徹底して職員に周知している	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3			各マニュアルを保護者全員に周知していなかった。早急に周知するようにする
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	7			避難訓練は年に2回実施しているが保護者への周知が不足(定期刊行物への小さな表示)していた
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16				家庭の事情で学校を休まないといけない状況でもデイサービス利用への意欲は強い
	18 事業所の支援に満足しているか	16			いつもありがとうございます。助かってます	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。